



こんにちは
日本共産党
区議会議員

中里光夫 です

中里光夫区政報告
2025年4月20日 No.316
世田谷区代田4-33-1
TEL 5432-2791 / FAX 3412-7480
Email: nakazato@jcp-setagaya.jp

新年度予算で実現

小中学校の断熱改修が進む

エアコンが効かない！

真夏の猛暑で学校のエアコンが効かないことが問題となっています。エアコンが古いというだけでなく、屋上や窓、壁から熱が入ってくるからです。適切な学習環境のためにも学校施設の断熱化を議会で求め続けてきました。

気候危機対策のためにも

エアコンをフル稼働しても効かない状態はエネルギーの無駄遣いです。断熱性能を上げ、外気の影響を減らせば、少ないエネルギーで部屋を冷やせます。断熱化はCO2削減の効果が大きく、気候危機対策のためにも必要です。

全校視野に改修計画を立てよ

最上階教室天井裏への断熱材設置10校、教室のエアコン更新15校、教室の遮熱カーテン20校、体育館の遮熱対策30校、体育館のエアコン増強22校、体育館の遮熱カーテン41校などが予算化されました。

区内小中学校は95校あります。断熱化はまだまだ一部。全校を視野に入れた断熱化計画を立てるよう求めています。



体育館の天井に設置された輻射熱反射シートと遮熱カーテン

教室天井断熱材を入れる小学校11校

三宿、玉川、二子玉川、八幡、東深沢、玉堤、塚戸、明正、八幡山、千歳、千歳台

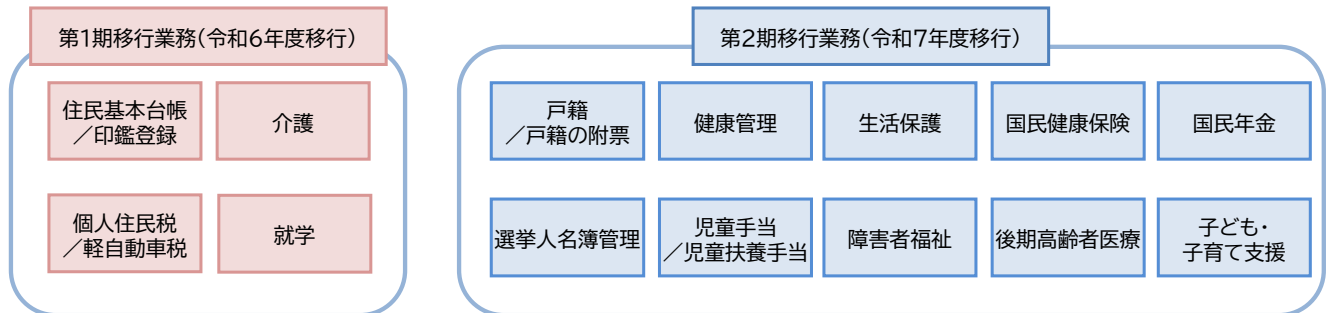
教室遮熱カーテンを入れる小学校20校

三宿、桜丘、世田谷、駒沢、中里、弦巻、中丸、玉川、二子玉川、八幡、奥沢、東玉川、桜町、塚戸、名声、八幡山、宮殿、千歳、北見、千歳台

行政システム標準化・一部稼働開始

現場に無理を押し付けけない対応を

14の基幹業務システムごとの世田谷区の移行計画



令和7年1月6日に稼働開始した4システム

児童手当、国民健康保険、生活保護、子ども・子育て支援、後期高齢者医療制度の5システムは期限までの移行は困難となった

標準システムへの移行・第1弾

行政システム標準化とは、自治体の基本的業務を処理する基幹業務システムを、国が定めた標準仕様に基づき、国が用意するガバメントクラウド上にシステム事業者が開発したシステムに移行することです。法律で令和7年度末までの移行が義務付けられています。

世田谷区は令和6年末に大きなトラブルなく一部のシステムを移行しました（図参照）。しかし、全国的には期限1年前の稼働は少数派です。今後、先行ユーザーにつきもののトラブルが懸念されます。

また、全国一斉に行うために技術者が不足し、世田谷でも5つのシステムが期限までの移行が困難となりました（図参照）。

サービス後退はなかったが

今回のシステム移行は、法律に基づいて強制的に実施させられるものです。世田谷区の現行システムはまだまだ使えるし、今システム移行をする必要性はありません。標準システムになっても、業務が特別効率化されるわけでもな

く、従来と同様か、むしろ使い勝手が悪くなる事例も出ています。

標準化に伴い、自治体独自施策などに影響が出るのではないかと懸念がありました。議会で「区民サービスの低下があってはならない」ということを強く求め、世田谷区独自の施策も処理できることを確認してきました。しかし、サービス後退とまでは言えませんが、これまでの事務処理と標準仕様との違いから、介護保険料の納入回数の変更や年金からの住民税徴収方法の変更などが起きています。

現場に負担、経験を今後を活かせ

議会で移行作業の実態について質問しました。国の仕様決めが遅れ、事業者の開発が遅れる中で、厳しい移行作業が現場に押し付けられました。他部署の状況が分からず不安だった、年末休暇の前日に休日出勤を求められた、本庁でプリントしようとしたら烏山支所でてきた、不眠症になったなどの話を聞きました。

令和7年末に、次の5つのシステム移行を実施しますが、今回の経験を活かし、無理な移行作業とならないよう求めました。